

1年	科目	国語 I	講義	通年	担当	小村宏史 Hiroshi OMURA
全学科共通		Japanese	必修	2履修単位		
授業の概要						
国語を的確に理解し、適切に表現する能力を育成する。思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上をはかる態度を育てる。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
	○	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)			実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)		
授業目標						
<ol style="list-style-type: none"> <li>論理的文章の読解を通して、論理的な思考方法および表現法を把握し、自分なりに考えることができる。</li> <li>文芸的文章の読解を通して、すぐれた表現に着目しつつ、作品の背景やその舞台設定、および作中人物の心情や行動の変化を把握することができる。</li> <li>詩歌(短歌、俳句)の読解・鑑賞を通して、想像力や感じ取る力を磨き、伝統的な言語文化に興味・関心を持つことができる。</li> <li>わが国の言語文化に関心を持ち、自身の興味・関心に沿って主体的に読書を行うことができる。</li> </ol>						
授業計画						
第1回	ガイダンス	シラバス説明／図書館利用オリエンテーション				
第2回		評論「技術が道徳を代行する時」池内了				
第3回		小説「羅生門」芥川龍之介				
第4回		小説「羅生門」芥川龍之介 参考:『今昔物語集』				
第5回		評論「水の東西」山崎正和				
第6回		随想「少女たちの「ひろしま」」梯久美子				
第7回		思考への扉1 文学への扉1				
第8回	前期中間試験					
第9回		評論「顔」という現象」鷲田清一				
第10回		評論「顔」という現象」鷲田清一				
第11回		詩歌 室生犀星(「小景異情」) ほか				
第12回		詩歌 室生犀星(「小景異情」) ほか				
第13回		小説「城の崎にて」志賀直哉				
第14回		小説「城の崎にて」志賀直哉				
	前期末試験					
第15回		試験解説／夏季休暇課題(読書感想文)提出／思考への扉2 文学への扉2				
第16回		随想「自分の時間で読み継ぐ」長田弘				
第17回		評論「希望としてのクレオール」柴田翔				
第18回		小説「鏡」村上春樹				
第19回		小説「鏡」村上春樹				
第20回		詩歌「十五の心——短歌抄」石川啄木ほか				
第21回		詩歌「十五の心——短歌抄」石川啄木ほか				
第22回	後期中間試験					
第23回		試験解説／評論「生物の多様性とは何か」福岡伸一				
第24回		評論「生物の多様性とは何か」福岡伸一				
第25回		小説「富嶽百景」太宰治				
第26回		小説「富嶽百景」太宰治				
第27回		小説「富嶽百景」太宰治				
第28回		詩歌「白牡丹——俳句抄」高浜虚子ほか				
第29回		評論「テルミヌスの変身」港千尋				
	後期末試験					
第30回	まとめ	試験解説／1年間のおまとめ／授業評価				
評価方法と基準	4回の試験の平均を80%、課題提出(読書感想文含む)を20%の重みとして評価する。					
教科書等	『国語総合 現代文編』(東京書籍)、『学習課題ノート現代文編』(東京書籍)、『新訂最新国語便覧』(浜島書店)					
備考	<ol style="list-style-type: none"> <li>試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。</li> <li>授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。</li> </ol>					